



いのち・絆・学び

山辺町立山辺中学校 学校だより 令和8年4月27日 第1号 文責：校長

115名の新入生を迎え、令和8年度のスタート

4月8日(水)、山辺町長 安達春彦様、山辺町教育長 岡均様、PTA 会長 渡邊市也様をはじめ、多数のご来賓の皆様にご臨席賜り、令和8年度の入学式を挙行いたしました。

115名の新入生を迎え、「いのち・絆・学び」を尊ぶ学校づくりを土台に、学校教育目標である「ふるさとを愛し、自他の幸福を追求し、逞しく生きる生徒の育成」を目指します。



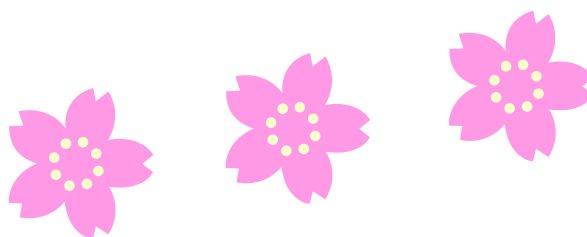
入学式 新入生代表のあいさつ 1年 S・Y さん

やわらかな春の日差しの中、今日、私たち新入生は希望と少しの緊張を胸に、この山辺中学校の門をくぐりました。本日はこのような立派な入学式を開いていただき、校長先生をはじめ先生方、ご来賓の皆様、そしていつも私たちを支えてくれている保護者の皆様に、新入生一同、心からお礼を申し上げます。

小学校を卒業してから今日まで、私たちは中学校生活を楽しみにしながら、この日を待っていました。新しい制服に袖を通し、これから始まる毎日を思うと、わくわくする気持ちでいっぱいです。その一方で、新しい勉強や部活動、先輩方との生活に、少し不安を感じています。しかし、同じ気持ちを持つ仲間達と出会い、助け合いながら過ごしていく中で、その不安もきっと楽しさや自信に変わっていくのではないかと思います。

私は小学校でバスケットボールに打ち込み、そこで、どんな場面でも礼儀正しさを忘れないことを学びました。これからの三年間で、私たちは勉強だけでなく、部活動や学校行事など、たくさんを経験していきます。うまくいくことばかりではなく、悩んだり失敗したりすることもあるかもしれません。しかし、周りの方々の協力に対して感謝の気持ちを忘れず、仲間と支え合いながら少しずつ成長していきたいと思います。そして、先生方のご指導や、先輩方の姿から多くのことを学び、この学校の一員としてふさわしい行動ができるよう、頑張っていきます。

まだまだ未熟な私たちですが、先生方のご指導のもと、仲間と共に励まし合いながら、明るく充実した中学校生活を送りたいと思います。どうぞこれからの三年間、温かく見守り、ご指導くださいますようお願いいたします。



入学式 歓迎の言葉 3年 O・S さん

うらかな春の光が降り注ぎ、山々の桜も美しく咲き誇る季節となりました。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんが入学する日を在校生一同楽しみにしていました。在校生を代表して、心から歓迎申し上げます。

みなさんは中学校生活の新たな環境、たとえば部活動や勉強に不安を感じていることと思います。二年前、私達も同じように不安を抱え、入学式を迎えました。しかし、この山辺中学校には頼りがいがあり親切に対応してくれる先輩がたくさんいます。もし、わからないことがあればなんでも聞き、頼ってください。私達、在校生も、新入生のみなさんが過ごしやすいような環境をつくり、より良いスタートを切れるようにサポートしていきます。

中学校生活では、小学校にはなかった部活動や各学期のテストなどがあります。部活動では、全ての部が目標に向かって日々練習に励んでいます。いろいろな部活動を見て、自分のやりたいことに挑戦してみてください。勉強面では、五教科だけでなく小学校ではなかった保健体育や技術・家庭科も加わり、七教科のテストになります。授業前の予習・復習をきちんと行い勉強を習慣化し、部活動と勉強をどちらも両立できるように計画を立てて実行していくことが大切です。

また、この学校の大きなイベントとしてあたご祭があります。あたご祭は、紅白の陣つまり運動会と合唱の陣、これはいわゆる合唱コンクールで、二つを合わせたものをいいます。紅白の陣では、紅軍と白軍に別れ、応援やりレー、学年の種目などで対決します。一人ひとりが積極的に参加することで、クラスだけでなく、学年や学校全体のつながりも深まります。合唱の陣では、各クラスがこれまでの練習の成果を發揮し、最優秀賞や学校賞を目指します。練習をしていく中でうまくいかないこともあるかと思いますが、みんなで協力し合うことで、クラスの絆がより一層深まっていきます。

1年生は、五月に「やまのべ探訪」があります。やまのべ探訪は、山辺町の様々な場所を巡りながら、ふるさとの良さや魅力を再発見する行事です。山辺町の歴史や文化に触れることで、普段住んでいる中ではわからない新しい発見に満ちた体験になります。

6月には全校生徒で行う「人権の花植え」もあります。同じ班の人と協力して、花を植えることで生命の尊さを実感し、思いやりの心を育むことができます。他にも、中学校には楽しい行事が一年を通してたくさん散りばめられており、充実した学校生活が送れることでしょう。

新入生のみなさん。今日から始まる中学校生活では、全てのことが初めてで慣れないことばかりだと思います。しかし、そのようなときは先輩や周りの仲間を頼り、他の人が困っていたら自分から助けることを大切にしてください。また、楽しむときはおもいきり楽しみ、やるべきときはしっかり取り組むというメリハリのついた生活を心がけていきましょう。

最後になりますが、皆さんのこれからの学校生活が、希望に満ち溢れ、実りの多いものになることを心からお祈りいたします。新入生の皆さんの明るく前向きな力で、山辺中学校をさらに素晴らしい学校にしていきたいでしょう。改めて、ご入学おめでとうございます。

令和8年度 新任者の紹介

Y・H	校長	天童市立第三中学校より（英語）
K・N	やまばと3組担任	山形市立大郷小学校より（技術・家庭）
S・T	2年主任	山形大学附属中学校より（音楽）
M・S	3年3組担任	山形市立第七中学校より（英語）
I・M	3年副担任	上山市立南中学校より（国語）
H・Y	1年3組担任	新規採用（社会）
K・A	2年副担任	新規採用（保健体育）
K・E	拠点校指導員	上山市立北中学校より（保健体育）



始業式 学年代表のことは

「集大成の一年」 3年 T・S さん

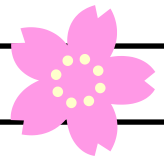
今日から最高学年としての生活が始まりました。私達三年生にとって中学校生活最後の年となります。私はこの一年の中で頑張りたいことが三つあります。

一つ目は、学習です。私は今年、受験生となり、進学先について真剣に考えるようになりました。そのため、自分の力を最大限に発揮できるように、学習の質を高めていきたいと思います。具体的には、毎日二時間以上の家庭学習の習慣を身につけたり、一つ一つの授業を大切に受けることで、密度のある学習時間を確保していきたいです。そして、受験には全ての教科が重要になるため、苦手な教科をジャンプノートを活用して集中的に学習をしたり、授業への取り組み方や態度などにも気を配っていきたいです。

二つ目は部活動です。これまで、日々の練習や試合を通して仲間と教え合ったり、上手な人の動きを参考にしたりしたことで、技の技術や完成度、メンタルなど様々な面で成長することができました。最後の大会まで残り少しとなりましたが、これまでの努力の集大成となるように、最後の最後まで仲間と共に全力で取り組んでいきたいです。また、新入生の手本となれるように、責任のある行動を心がけていきたいです。

三つ目は学校生活です。この一年は、すべての行事に「中学校生活最後の」という言葉がついてきます。だからこそ、あたご祭や修学旅行などの行事を一生の思い出になるようにしていきたいです。また、後輩を引っ張っていけるように、最高学年としての自覚を持ち、日常生活や生活態度を整え、信頼される先輩になれるようにしていきたいです。

私達三年生はこれまで学年として「信頼」「前進」というスローガンのもとに生活してきました。合唱やあたご祭などの学校行事に全力で取り組む力や、学年で掲げた目標に協力して挑戦する力など、様々な力をつけてきました。これまでに得た学年としての絆や力を、これからの合唱や行事、部活、日常生活などすべてに生かしていきたいです。1日1日を大切に過ごし、最高の一年にしていきたいです。



「決意の言葉」 2年 S・K さん

中学生になり、はやくも一年が過ぎ、二年生に進級しました。一年生の頃はまだ学校生活に慣れていなかったことから、不安を感じたり、甘えてしまったり努力不足になったりすることがありました。しかし、学校生活に慣れるにつれ、将来の自分を意識しながら生活できるようになってきたと感じています。

そこで私は中学二年生の一年を「自分をより深める一年」と決め、目標を三つ立てました。

まず一つ目に、学習の継続と部活動との両立です。学習も部活動も、毎日の積み重ねが大切です。授業で分からなかった部分の復習に積極的に取り組み、学習習慣をしっかりと定着させること、定期テストに向け、計画的に取り組むことで、学習の力を伸ばしたいです。また、陸上部では、選択した種目に全力で挑み、結果を残したいです。そのためには日々の部活動で目標を持って取り組むことが必要です。学習も部活動も、自分の力を伸ばせるように両立して取り組みたいです。

二つ目は、後輩の手本になる行動や姿勢を示すことです。学習や部活動だけでなく、日々の生活から手本になる行動を示します。たとえばあいさつや時間行動など、基本的なことを徹底し、さらに黙働の伝統を引き継げるようにしたいです。普段使用している学校に感謝し、磨く活動は、心も磨けるものだと感じています。この活動をしっかり後輩に引き継ぎながら、私自身も気を緩めず頑張っていきたいです。

三つ目は相手を尊重し、周囲の状況に応じて行動することです。一年生の学年目標でもあった「尊挑」は、互いを高め合い、一人ひとりが行動に責任をもつことを意味していました。このことを二年生でも意識し、仲間とともにさらに新しいことに挑戦し、成長できるようにしていきたいです。

ときに不安になったり、失敗したりすることもあるかもしれませんが。そんなときは叶要学年の仲間や、先生方に相談しながら、正しい方向を見失わずに進んでいきたいです。

この三つの目標を忘れず、前進し、自分をより深める一年にしていきたいです。

東村山地区中学校駅伝競走大会 全校生徒の心が1つに！

4月11日(土)、県総合運動公園を会場に、東村山地区中学校駅伝競走大会が開催されました。大会結果は、男子Aチーム第1位(県大会出場)、Bチーム第7位、女子Aチーム第5位、Bチーム第7位、個人は男子Aチーム1区O・Hさん、4区K・Aさん、5区Y・Yさんの3名が区間賞、女子Aチーム1区のW・Rさんが区間第3位という素晴らしいものでした。選手のみなさんのチームのためにひたむきに走る姿、本気の姿に、誰もが勇気づけられました。

当日走らなかったみなさんもチームを支える役割をしっかりと果たしました。そのバックアップがあったからこそ、選手は力を発揮できたと思います。また、スタンドでの江口応援団長を中心とする全校生徒のみなさんの熱い応援も、選手を力強く励ましました。

多くのみなさんの支えにより、男子53名、女子15名、合計68名という大選手団で昨年12月からこれまで練習に励んでくれたことは、本校の大きな財産であり、大変誇りに思います。

指導スタッフのみなさん、また、当日会場でご声援を送ってくださった保護者のみなさまにも深く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

令和8年度のスタートに当たり、選手団の健闘は、山辺中に大きな勢いをもたらしてくれました。この勢いを追い風に、全校生徒で様々なことにチャレンジしていきましょう。

